



▲ヘルスメイトによる調理実習



▲香りを楽しみながらエナさんと給食を食べる児童

この日はヒンディー語で食事を通して宝を発見するという意味のカーナ・カザナの日であり、インド出身の国際交流員ゲルン・エナさんから教わったバターチキンカレーやベジ・プラオ、フライド・アル、きゅうりのサラダの4品が並びました。

横田小学校を訪れたエナさんは「インド人の食文化に触れ、私の

内閣官房ホストタウンアクション
スパイスは辛い？ インドの食文化を体験

2020年の東京五輪に向けインドのホストタウンに登録した奥出雲町では、インドの食文化に親しむことを目的に、2月22日、町内の小中学校でインド料理の給食を提供しました。

「辛い」と話した。児童は9種類のスパイスが使われた料理を食べると「辛くなく、おいしい」「香りがとても良い」と話し、給食の時間を楽しみました。

また、26日にはインドの食文化を広めることを目的に、奥出雲町食生活改善推進員研修会でスパイスを使った調理実習がエナさん監修のもと行われました。

給食で提供された4品のほか、ポテト・トーストとデザートのカキ氷を作りました。完成した料理を文化への理解を深めました。

「たたら製鉄の歴史が刻まれた大原新田の棚田」
しまね景観賞奨励賞を受賞



▲受賞報告に訪れた千原会長(右)

魅力ある島根の景観づくりに貢献しているまちなみなどを表彰する第26回しまね景観賞において、まち・みどり・活動部門で大原新田の棚田が奨励賞を受賞しました。

受賞した大原新田は、たたら製鉄に必要な砂鉄を採取するために丘陵地を切り崩した跡地を棚田に造成された歴史があります。この棚田を守り伝えるため、地元住民が設立した大原新田棚田保全管理委員会では、案内看板や棚田が一望できる展望台を設置するなどの活動が続けられています。

大原新田棚田保全管理委員会の千原政男会長は「受賞することができ嬉しい。景観を守り続ける気持ちを新たにすることができた」と受賞の所感を語られました。

しまね建築・住宅コンクールで優秀賞
「古民家オフィスみらいと奥出雲」



▲2月27日に開催された表彰式の様子(島根県提供)

優良な住宅や建築物の整備事例、活動事例を表彰する平成30年度しまね建築・住宅コンクールで、町所有の古民家オフィスみらいと奥出雲が優秀賞を受賞しました。

今年度は、生活環境の変化に順応する、わが街・わが家の工夫-暮らしを取り巻く課題への対応策-というテーマで募集が行われ、建築物部門に72件の応募があり、審査を通過した10件の中から優秀賞に選ばれました。

古民家オフィスみらいとは、築90年の2階建の古民家を改修し、レンタルオフィスや地域交流スペースとして再生したことなどが評価されました。

祝 日本農業遺産に認定
= 中国地方初 =



たたら製鉄に由来する
奥出雲の資源循環型農業

我が国において、将来に受け継がれるべき伝統的な農業システムとして「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」が、2月15日、日本農業遺産に認定されました。中国地方で認定されるのは、初めてとなり、15日に役場仁多庁舎で行われた記者発表において、勝田町長は「たたら製鉄の歴史文化、奥出雲の農業と食の魅力をさらに情報発信したい」と話しました。

本町はたたら製鉄に由来する農林畜産業が現在も営まれ、資源循環型の農業によって、暮らしや文化、里山の自然環境、多様な動植物が育まれています。奥出雲地域では、たたら製鉄の原料となる砂鉄を「鉄穴流し」という技術で採掘しました。砂鉄を得るために山を切り崩し、その跡地を棚田に再生し、耕畜連携による土づくりを行ってきたことが、今日の「仁多米」の生産へとつながっています。また、たたら製鉄が必要となる木炭用の森林資源はシイタケ等の栽培に利用され、和牛改良の知識技術は役牛から肉用牛の飼養管理に活かされ、町の特産品である「奥出雲椎茸」や「奥出雲

和牛」の基礎を築きました。たたら製鉄による鉱山跡地を有効に農地へと転換した独自性のシステムであること、人間が独自に景観をつくり上げ、地形的にもユニークであることが評価され、この度の認定となりました。今回、日本農業遺産に申請した19地域のうち、本町を含む7地域が認定を受け、また世界農業遺産への認定申請の承認には3地域が選ばれました。4月19日には、日本農業遺産の認定証授与式が農林水産省で行われます。

今後は農畜産物のブランド化、農産加工品の開発、都市農村交流の促進による地域経済の活性化を目指します。同時に、農業システムの保全、継承に向けた取組も進めてまいります。なお、国連食糧農業機関(FAO)が認定する世界農業遺産への認定申請の承認に向け、専門家の意見を踏まえて追加調査を行う予定です。



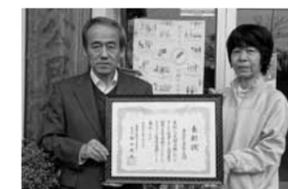
▲認定を祝した横断幕を設置

自衛隊入隊予定者激励式
今春より自衛隊員として働く奥出雲町出身者の入隊激励会が、3月8日に役場仁多庁舎で行われました。本町から自衛隊に入隊するのは3年連続となります。激励会では「誇りを持ち、使命感溢れる自衛隊員として活躍して欲しい」との激励が勝田町長から入隊者の細木瑞希さんにかけられました。



▲入隊予定の細木さん(前列中央)

布勢公民館が
優良公民館表彰を受賞
平成30年度優良公民館表彰(島根県教育委員会表彰)を布勢公民館が受賞されました。この賞は、県内の公民館等が行った優れた活動に対して贈られるものであり、布勢公民館は、地域住民が地域で活躍できる場づくり等、多数の事業を展開しており、これらの優れた活動が評価されました。



▲山田伸二館長と安部晴美主事